

学校法人神戸学院 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2018年度達成度評価表

		評価	理由
中期目標	教学の主体性を尊重しつつ、安定的な経営基盤を確立し、兵庫、神戸を代表する魅力ある学校となることを目指します。		
中期計画	1 経営と教学の役割分担の明確化と理事会機能の強化	B	当初の予定よりも大幅に早く、常勤監事を置くことが出来る体制を整備したことは評価できる。中期行動計画の進捗管理については、年次達成度報告書の作成が遅れている部署もあるため、今後もPDCAが適切にまわり、2022年度までにすべての計画が完了するよう、管理する必要がある。
	2 財政の健全化と安定的な経営基盤の確立	B	中長期計画実行に基づいた財務計画策定について、第2次中期行動計画(2018-2022)の初年度に策定できたことは、評価できる。次年度以降は、社会の情勢に合わせて毎年度見直しを行うことが望まれる。
	3 社会の変化に機動的に対応するための法人資源の選択と集中	B	施設整備に関しては、年次計画どおり順調に計画が進んでおり、評価できる。一方、法人全体を包括する自己点検・評価体制については、原案の構想段階にあるため、まずは中学校・高等学校での自己点検・評価の実態調査を行う必要がある。
	4 労働環境の整備と男女共同参画の推進	C	年次計画どおり進んでいる計画もあるが、人事制度全般の再整備や学内諸会議の見直しについては停滞した状態であり、次年度以降、改善策を講じる必要がある。また、第1次中期行動計画(2013-2017)から引き継がれた計画については、第2次中期行動計画(2018-2022)において、年次計画どおり計画を完了することが望まれる。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る